

2016年12月21日

日経MJ 注目の一品に「感震タップ とめ太郎」が掲載されました

「震度5強」で電源自動遮断

デバイスネットの「感震タップ とめ太郎」

電源コンセントに装着して地震による火災リスクを低減する防災グッズ「感震タップ とめ太郎」。

小型で高性能な感震センサーを内蔵。震度5強相当の揺れを感知すると、同商品に接続されたストーブやドライヤーなど電気製品の電源を自動で遮断し、火災のリスクを低減する仕組み。製造元は旭東電気（大阪市旭区）。

従来は分電盤から電源を遮断する「感震ブレーカー」が多かったが、新製品は電源コンセントに装着するタイプなのでより使いやすく、必要な電気製品だけピンポイントで電源を遮断できる利点もある。2口設計（合計1500円）で2種類の電気製品を接続できる。参考価格は5378円。

取り付け・取り外しが簡単で、電気ストーブなどと一緒に部屋から部屋へ移動できて便利。「テストスイッチ」ボタンが付き、ひと押しで動作確認が可能。

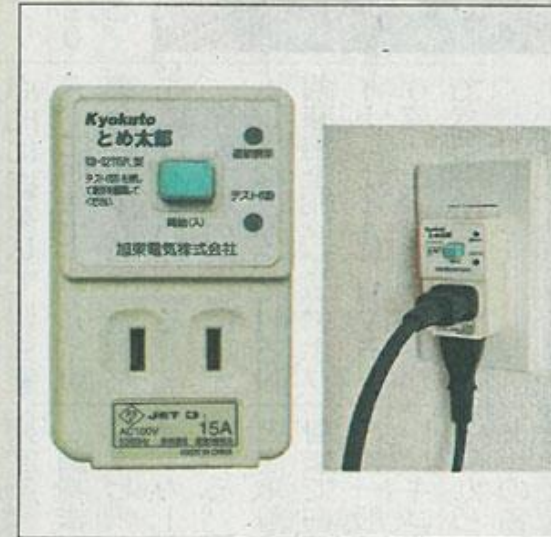
発売元はデバイスネット（大阪市中央区、03・3266・5759）。

——<担当者から>——

過去の震災データによると、食器棚や本棚などが倒れ、地震火災のリスクが一気に高まるのは震度5強相当の揺れだとされている。新製品はその震度5強相当の揺れを感知し、接続された電気製品の電源を遮断する防災用品。

従来の分電盤から電源を遮断する感震ブレーカーは取り付け工事

注目の一品



が必要なタイプが多く、作動すると家全体の電気が遮断された。その点、新製品は家の中の任意のコンセントに簡単に取り付けでき、必要な電気製品だけを遮断するため照明が確保され、夜間の避難時でも安全に行動できる。価格も手ごろなので、ぜひ一家に一台のご利用をお勧めしたい。

（広報担当の大沢裕美さん）